

令和 6 年度 事業報告

(令和6年 4 月 1 日～令和7年 3 月 31 日)



社会福祉法人
若草会

1. 法人概要

法 人 名	社会福祉法人若草会
法人設立年月日	平成 27 年 12 月 25 日
代 表 者 名	理 事 長 古 賀 良 子
法 人 所 在 地	福岡県久留米市天神町 134 番地 1
電 話 番 号	0942-38-2606

2. 法人理念

「一人ひとりの豊かな生涯を共に寄り添い、支え合う介護の実現」

3. 沿革

平成 27 年 12 月	社会福祉法人若草会	設立
平成 28 年 1 月	理事長 古賀由紀子	就任
平成 29 年 4 月	地域密着型特別養護老人ホームわかくさ	開設
令和 1 年 10 月	特別養護老人ホームわかくさショートステイ（空床型）	開設
令和 2 年 4 月	社会福祉法人弥生の里福祉会	合併
	第 1 種社会福祉事業	
	地域密着型特別養護老人ホーム弥生の里	追加
	第 2 種社会福祉事業	
	弥生の里ディサービスセンター	追加
	短期入所生活介護弥生の里	追加
	公益事業	
	(1) 生きがい活動支援通所事業の受託経営	追加
	(2) 特定高齢者通所型介護予防事業の受託経営	追加
令和 2 年 7 月	理事長 古賀良子	就任
令和 4 年 8 月	弥生の里ディサービスセンター	閉鎖

4. 事業内容

- 第一種社会福祉事業
 - 特別養護老人ホームの経営
- 第二種社会福祉事業
 - 老人短期入所事業の経営

○収益を目的とする事業
不動産貸与事業の経営

5 【令和6年度の運営方針】

(1) 良質な介護サービスの提供

ユニットケアの実現に向けて、ユニットリーダーを中心に入居者のこれまでの生活を把握し、尊厳と個別性のあるケアを提供していきます。

(2) 生産性の向上

各職種がチームとして生産性の向上を目指し、よりよいサービスの提供を行うために、人材育成や業務改善・環境作りに取り組みます。

(3) 地域における公益的な活動の展開

地域に根ざした施設として、家族や地域住民との交流を図り、社会貢献に取り組んでいきます。

(4) 感染症や災害への対応力向上

感染や自然災害発生時にも、入居者が安心・安全に生活を継続できるように、地域や医療機関と連携しながら、適切な支援が提供できる体制を整えます。

6 【令和6年度の行動指針】

(1) 入居者のこれまでの生活を最期まで豊かに継続していかれるように、環境を整え、尊厳をもって支援していきます。

(2) 入居者個々の心身の状況に合わせ、良質な介護サービスを切れ目なく提供されるよう努めます。

(3) 若草会のそれぞれのコミュニティの中で、地域の実情に応じ柔軟に交流活動に取り組みます。

(4) 私たちは社会福祉施設職員として、それぞれの技術の向上に日々努め、節度ある態度をもって対処できるよう自己研鑽に努めます。

7. 理事会及び評議員会開催状況

日時	議会名	(理事) (評議員) (監事)	議題
6 月 10 日	第 1 回理事会	5/7 — 2/2	① 令和 5 年度 事業報告について ② 令和 5 年度 決算報告について 令和 5 年度監査報告 ③ 理事・監査の選任について ④ 評議員会の召集について
6 月 28 日	第 1 回定時評議員会	— 7/9 —	① 令和 5 年度 事業報告について ② 令和 5 年度 決算報告について 令和 5 年度監査報告
10 月 30 日	第 2 回理事会	5/7 — 1/2	① 役職手当について ② 賞与支給日の変更について
3 月 26 日	第 3 回理事会	6/7 — 1/2	① 令和 6 年度 第 1 次補正予算案について ② 令和 7 年度 事業計画案について ③ 令和 7 年度 予算案について

8. 役員名簿

理事長	古賀 良子
理事	末次 輝
理事	大石 昌彦
理事	平松 義博
理事	林 利彦
理事	池末 直子
理事	田中 圭子
監事	田崎 創
監事	吉田 樹夫

9. 評議員名簿

評議員	稲吉 義弘
評議員	大石 純夫
評議員	木下 雅之
評議員	眞田 明子
評議員	熊谷 智彦
評議員	中村 茂人
評議員	古川 哲也
評議員	肥山 淳一郎
評議員	吉田 帰命

～わかくさ～

法人理念；一人ひとりの豊かな生涯を共に寄り添い、支え合う介護
の実現

【運営方針】

①良質な介護サービスの提供

ユニットケアの実現に向けて、ユニットリーダーを中心に入居者のこれまでの生活を

把握し、尊厳と個別性のあるケアを提供していきます。

⇒夜勤を行う職員全てが喀痰吸引研修を修了し、経管栄養の方や常時吸引が必要な重度の方の対応が可能となり、最期まで寄り添えることができました。

次年度は、もっと認知症ケアについての知識を深め、より上質なケアが提供できるよう、体制を整えていきます。

②生産性の向上

各職種が生産性の向上を目指し、よりよいサービスの提供を行うために、人材育成や

業務改善・環境作りに取り組みます。

⇒生産性向上委員会を立ち上げ、各ユニット内の環境整備に取り組み、清潔で整頓された居室・フロア内へと改善しました。介護と介護補助の業務を仕分けることで、介護職員が介護業務に専念できるようにと、補助業務の外部委託を始めています。

次年度は、ノーリフティングの観点から、介護ロボットや ICT の導入を検討していく予定です。

③地域における公益的な活動の展開

地域の中に根ざした施設として、家族や地域住民との交流を図り、社会貢献に取り組んでいます。

⇒2回／月の運営推進会議にできるだけ多くの外部者（民生員・第三者委員・居宅介護事業所）やご家族を案内し、わかくさの運営状況を報告し、助言やご意見を頂いています。また、4Fの機能訓練室を開放することで、久留米市よりの委託（介護予防普及啓発事業）やヨガ教室・自主グループ活動等に利用されています。地域交流室にカフェを設置し、その方々やご家族に利用してもらっています。

次年度は、地域のニーズを収集し、認知症カフェの実施を検討しています。

④感染症や災害への対応力向上

感染や自然災害発生時にも、入居者が安心・安全に生活を継続できるように、地域や医療機関と連携しながら、適切な支援が提供できる体制を整えます。

⇒感染症の拡大や自然災害もなく、安全に過ごすことができました。しかし、災害等に備えてのBCP研修・訓練は実施しており、次年度も継続予定です。

【行動指針】

① 入居者のこれまでの生活を、最期まで豊かに継続していかれるように、環境を整え、
尊厳をもって支援していきます。

② 入居者個々の心身の状況に合わせ、良質な介護サービスを切れ目なく提供されるよう努めます。

③ 若草会のそれぞれのコミュニティの中で、地域の実情に応じ柔軟な交流活動に取り組みます。

④ 私達は社会福祉施設職員として、それぞれの技術の向上に日々努め、節度ある態度をもって対処できるよう自己研鑽に努めます。

⇒行動指針については、運営方針に向けて、上記の内容で取り組んでいます。
次年度も継続予定です。

～弥生の里～

法人理念；一人ひとりの豊かな生涯を共に寄り添い、支え合う介護
の実現

【運営方針】

①良質な介護サービスの提供

ユニットケアの実現に向けて、ユニットリーダーを中心に入居者のこれまでの生活を

把握し、尊厳と個別性のあるケアを提供していきます。

⇒入居者のこれまでの生活歴を面会に見えたご家族と雑談を通じ、対話の中で情報収集に努めました。知り得た情報は「介護のための情報」ではなく「その人の人生の物語」と捉え、尊厳と個別性を尊重したケアを提供していくよう努めました。

今後もユニットリーダーを中心にチームで連携を図りながら、より質の高いユニットケアの実現に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

②生産性の向上

各職種が生産性の向上を目指し、よりよいサービスの提供を行うために、人材育成や

業務改善・環境作り取り組みます。

⇒経験年数や担当者によってケア内容にばらつきが出ないよう、ケアの標準化に努めました。理学療法士指導の下移乗技術ノーリフティング教育や新古賀みらい病院の特定行為看護師による褥瘡処置など実践的に学ぶことができました。

業務改善については、各ユニットムリ・ムダ・ムラの削減で非効率な作業を見直しました。インカムを使用し申し送りを行うことで作業の手を休めることなく時間短縮になったことは評価できると思います。

環境作りは各ユニット利用者目線で、共同フロアの家具の移動を行いました。

これからも現場の工夫や改善を積み重ね、スタッフが安心して働ける環境づくりと、入居者にとっても安心・安全な生活の両立を目指していきます。

③地域における公益的な活動の展開

地域の中に根ざした施設として、家族や地域住民との交流を図り、社会貢献に取り組んでいます。

⇒2回／月の運営推進会議の開催、地域で行われるサロン&カフェに参加し血圧測定や健康の悩み相談に参加しました。また地域で行われる自治体に参加しながら地域の中で何が求められているか地域の方々の声に耳を傾けながら、社会貢献に取り組んでいます。

④感染症や災害への対応力向上

感染や自然災害発生時にも、入居者が安心・安全に生活を継続できるように、地域や医療機関と連携しながら、適切な支援が提供できる体制を整えます。

⇒感染症の拡大や自然災害もなく、安全に過ごすことができました。また令和6年度12月から福祉避難所として受入協定を結び、地域の方と共に火災訓練を行う予定です。これからも地域の中に根ざした施設として、取り組んでいます。

【行動指針】

- ① 入居者のこれまでの生活を、最期まで豊かに継続していかれるように、環境を整え、
尊厳をもって支援していきます。

② 入居者個々の心身の状況に合わせ、良質な介護サービスを切れ目なく提供されるよう努めます。

③ 若草会のそれぞれのコミュニティの中で、地域の実情に応じ柔軟な交流活動に取り組みます。

④ 私達は社会福祉施設職員として、それぞれの技術の向上に日々努め、節度ある態度をもって対処できるよう自己研鑽に努めます。

⇒令和6年度目標に掲げた稼働率UPについては、入所前年度比率で2%up98%、ショートは12%UPで46.3%を達成することができました。
若草会の理念に添った行動、運営方針に向けてスタッフ一同取り組みます。
次年度も継続予定です。

〈年間行事/職員研修・会議〉

月	行 事	職員研修・勉強会
4 月	・石橋文化センター花見(わかくさ) ・さくら見学(弥生の里)	・接遇勉強会・口腔勉強会 ・感染強会・褥瘡研修会
5 月	・花見・菖蒲湯 ・運営推進会議	・身体拘束・虐待防止・口腔勉強会 ・ノーリフティング勉強会
6 月	大運動会	・感染症勉強会・福祉用口腔勉強会
7 月	・七夕短冊・演奏会 ・運営推進会議(コロナで中止)	・事故防止・安全対策 (資料配布)
8 月	・新型コロナ感染にて中止	・食事と栄養について・福祉用具勉強会 ・医療安全勉強会
9 月	・敬老会 ・運営推進会議	・認知症ケアについて ・消火・避難訓練
10 月	・コスモス見学(弥生の里)	・口腔ケアについて
11 月	・焼き芋パーティー ・運営推進会	・看取り介護について
12 月	・クリスマス会	・身体拘束・虐待防止について
1 月	新型コロナ感染にて中止	・感染症について
2 月	・施設作成神社参り	・褥瘡について
3 月	・桜花見会 ・運営推進会議	・排泄について ・介護報酬改定勉強会

※入所判定会議は適宜開催